

留学受入水に関するフランスの回答

- 一、原子工学関係講座には目下のところ、定員の関係で日本人研究員を受入水る余地はない。
- 二、但しケルノーブル・センターの Ecole d'Ingenieurs (学長 *Dr. J. G. B. 教授*) 第四学年の講座は、日本側希望の研究分野をカバーし、かつ工学卒業後の若手技術家向で適当と考えられる。右授業料は年額一、〇〇〇フランである。
- 三、日本側においてケルノーブル・センターに留学せしめたい希望を有する候補者ある場合には日本国大使館より原子力庁 *Bartman Gutschmidt* 対外関係局長あて連絡を希望する。

留学受入水に関するイギリスの回答(大学関係)

当地各大学における原子力関係講座は左のとおり。

- 一、ロンドン大学 (Queen Mary College) Nuclear Engineering (定期講座)
- 二、マンチエスター大学 Nuclear Engineering (五、六週間、不定期)
- 三、パーミンガム大学 Nuclear Engineering (一年)
- 四、カラスゴ大学 Nuclear Engineering
- 五、アクトン工業大学 (ロンドン) Nuclear Engineering (二十週間)
- 六、チエルシー・ポリテクニク (ロンドン) Nuclear Physics

なお、別添の「英国各大学における科学研究」は大学院コースにおける各研究について詳細に説明しているから、ニ水により適当な大学の適当なコースを御選択の上御回報願わしたい。

(注)「英国各大学における科学研究」は外務省国協四課に保管

c114-014-011